

●竹門先生の退官祝い 4月15日 京都大学宇治川ラボラトリー

長年、木津川での「親子で学ぼう遊ぼう魚とり」を続けてきましたが、天候の変化（台風の接近や豪雨の出現・ダムの放流）などでやむなく中止せざるを得ないことが連続してきました。開催しても、その影響から魚が全く採れないことが続きました。私の印象の木津川は魚が体にツンツンあたってく

るところであり、川での遊びはとても楽しいところで、魚が全く採れないなどとはとても考えられない川になっていました。そこで川には魚が大変少なくなっているのは産卵場所がなくなっていることや、河床低下が進んでいることなどだと竹門先生から学びました。そのために竹蛇簗が有益だとして取り組み始めたのがきっかけでした。その竹門先生がこの3月に退官されるとの案内をいただき、播川・福井・森島の4名で退官記念講演会に参加してきました。会場は満席で椅子の追加もありましたが、立席で拝聴する人が出る状態でした。

先生のお父さんは築地の魚河岸の仕出し屋で、包丁さばきと魚の目利きを教えられ、秋田生まれのお母さんから山菜取りを学んで大きくなりました。学生時代に今西金次郎の著書に出会ってすごい影響を受けた事、ゲンゴロウの研究に没頭したこと、そして河川土木に砂州の流動が大きな影響するお話などがあり、一般市民（や

ましろ里山の会・京の川の恵みを生かす会）などとの取組を始めた

ことが紹介されました。

午後からは出席者のために竹門先生自らが腕を振ってビワマスの刺身やコイこくを提供されました。また鴨川漁協の澤さんや伏見納屋町の石黒さんたちが手作りの食べ物を150人のおなかを満腹する量の持ち込みをされ、退官を祝うもてなしを盛り上げていただきました。まさにこれでもか、これでもかというすごい催しになりました。この日は終日雨が降り、うるさいな、早く終わらないかなどと考える間がないほど充実した時間になりました。

大変沢山の学生さんがお手伝いで盛り上げてくれましたし、遠く各地からの参加者がおられ、話題に事欠くことなく交流が計られ、退屈する人は誰もいないすごい取り組みでした。

竹門康弘先生 最終講義

「生息場学の展望

-Perspectives of Habitatology」

とき 令和5年4月15日（土）10時30分から12時

場所 京都大学防災研究所

宇治川オープンラボラトリー

セミナー室 107



こうした取り組みが雨天の中、しかも屋外で長時間続けられたのは、ひとえに長年、竹門先生が現場での体を使った活動が継続されてきたのだと強く感じました。だから誰もできないような祝賀会になったのだと思いました。

そして京都大学防災研究所宇治川ラボラトリーの広場には中聖牛が設置されています。これは今年度の里山の取りくみで福井、森島、播川、有田、太田、篠原さん達が組み立てた記念物です。

またこの祝賀会が長時間持続できたのは、すごい食べ物が沢山あったこと、アユや焼き肉ができるバーベキュー装置が用意されていた事だと思います。そしてそのコンロには炭火がたっぷりあって焼きながら、暖を取れていい会場の雰囲気がかもし出されていたからだと思います。この炭は里山の会が生産したもので、この会場での大役を担うことができました。

●第 29 回通常総会の日程確認と活動報告の補強担当の役割をきめました

一般的な総会ではシャンシャン大会でスケジュール通り進められるのが通常ですが、今回の里山の会の総会では一般的な報告に加えて、理事の多くが主役となって活動を展開していくので、一般的に進めるのではなく現場で学んだこと、課題や改善しなければならない貴重な点の補強発言を行い、社員や会員に深く理解が進むようにしようと話しました。不十分な点も多々あると思いますが、みんなで一生けん命に取り組みますので多くの社員の皆様のご出席をお願いいたします。一応、会員拡大や名簿管理などは播川司理事、里山農園活動は森島副理事長、木津川植生業務は有田勉理事と決定しました。そのほか昆虫観察と講演会関係は野村治社員、魚とりと中聖牛について福井波恵理事にお願いの予定です。

通常総会は定足数に満たない場合（過半数の出席）は不成立、流会となりますので、極力社員の皆様のご出席をお願いいたします。これまではこうした事態には一度もなかったのですが、今回は連休前の平日の午後からの開会という、これまでにない日程になりますので、万一の事態の発生を心配しています。特に第 29 回通常総会は理事の任期切れで、新理事の出席で理事会を開催し、選出された理事によって理事長の選出及び体制の確立を行わなければならないとても大切な総会となっています。そして人事の交代となりますと、特定非営利活動法人として法務局と京都府へ決議を議事録をつけての報告しなければなりません。こうした大変重要な総会ですので、流会などというこれまで一度も経験したことが起きないように、よろしくお願いいたします。

●4 月 22 日に炭の窯出しを行います

3 月に実施しました炭焼きの成果物である炭の取り出しを行います。22 日午前 9 時半から行いますので、炭窯の場所にお集まりください。